



「食」を例にした
グローバル
Well-Being
回路の
実現

農学部発の教育・研究プログラム

「One Earth Guardians育成プログラム」

個人・社会で『量』から『質』への新しい価値感の創造！
(経済成長・大量生産・大量消費の『経済資本主義』から脱却し、
「地球」のことを第一に考える個人行動・社会構造の変容)



Copyright Kyoko Takahashi 2021

常時代謝状態をモニターする非侵襲的オミックス解析法を開発し、このデータ（特にアミノ酸プロファイル）をもとに生理状態や疾病状態を推定、これを正常な状態にする未利用資源や新規資源を用いた『未来型食品・飼料』を作成、これによりヒトの健康寿命の延伸や資源動物の高品質化を目指しています。ヒトの場合には、健康寿命延伸のために、現在摂取している食事の10-30%くらい削減すべきことがわかってきています。更に、食品ロスを削減することによって、飢餓の問題を解決できることを考えると、これらの技術と社会変革によって、地球に負荷をかけることになる食料増産をしなくても現在の1.2倍から1.5倍の人口を維持できる計算になります。しかし、そのためには、現在の「**経済偏重資本主義**」から「**地球（自然）資本主義**」へ変える必要があり、私達は、教育、研究、社会実装を通じて、この変革を目指しています。